

## 厳しい冬に備えて、牛の放牧を終了

当场では、新鮮な牧草の摂取と足腰強化により連産性を高めるために、毎年、4月から11月にかけて、和牛成牛約60頭と乳用育成牛約40頭を放牧しています。これから雪に覆われる厳しい冬を迎えるにあたり、最後まで放牧されていた1群8頭の和牛を11月25日に牛舎へ収容しました。

当日は時雨模様の天候の中、牛たちは職員に誘導されながら1.5km先の牛舎まで駆け足で帰って行きました。

冬の間、牛たちは牛舎内でお産や子育てを行い、来春、若葉が芽吹く頃に再び、放牧場に出て行きます。



職員に誘導され、牛舎へ向かう牛たち